

競技力向上、私の意見

NEW!! わかぶじ 国体以来、成年男女・少年男女の競技力がジリ貧傾向にある。東海大会を制し国体本大会出場を勝ち取るために「今何をなすべきか」を永年指導者として歩んでこられた方々に意見を語ってもらった。初回は全国制覇の実績を持つ梶原恒利氏にお願いした。

ソフトボールへの興味づけと魅力づくりを

ソフトボールの競技力向上には底辺の拡大から始めなくてはならない。小学生、それも早い時期からソフトボールに触れさせることが大切で、それには、ソフトボールへの興味づけが必要であり、関係者はソフトボール競技への魅力づくりをもっとやらねばならない。

今、サッカーがブームを呼んでいるが、そこには、我々がやらなくてはならない。忘れてはいる何かが在る。男子ソフトボールの立場で言えば男子は野球、女子はソフトボールという色分けが出来ている。しかし、野球とソフトボールは似てはいるが異なる競技である。これを打破するには投手を育てることが

先決で、ソフトボール競技では投手が勝敗の約八割を占めている。投手を育てるには個々の特質を見極め、技術面、体力面、精神面と選手を良く観察し、その選手に合った育て方を指導者は研究・実践することを学ばなければならない。

また、指導者は作戦面も含め、ソフトボール競技とはどのような競技なのかを再考の上、現行の指導方法から脱皮しなければならぬ時期にきている。

新役員紹介

今回の役員改正で新たに副理事長・常任理事、理事に就任した方々のうち、副理事長・常任理事(専門委員長)に任命された十一名の方に役員としての抱負や、任期中最も力をいれたいことなどを中心にプロフィールをご紹介いたします。①所属支部・生年月日。②ソフトボールとの出会い。③役員としての抱負。④座右の銘。⑤任期中に最も力を入れたいこと。



副理事長・村野 豊
①庵原支部・昭和11年7月20日



副理事長・伊藤忠明
①藤枝支部・昭和15年9月18日



副理事長・高山良文
①高体連・昭和22年8月8日



副理事長・小保方精一
①焼津支部・昭和35年1月22日生まれ



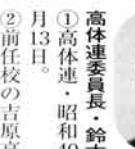
認定委員長・中村善治
①掛川支部・昭和24年4月10日



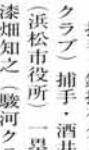
女子リーグ委員長・安本秀樹
①清水支部昭和24年10月31日



障害者委員長・鈴木新平
①庵原支部・昭和13年12月23日



高体連委員長・鈴木広隆
①高体連・昭和40年7月13日



投手・佐藤利恵(NEC アクセステクニカ) 捕手・関口直美(静岡) 一塁手・計盛志津子(静岡) 二塁手・野口めぐみ(NECアクセステクニカ) 三塁手・大矢留美(静岡) 遊撃手・鈴木優子(静岡) 外野手・大瀧百合香(静岡) 木下愛美(NECアクセステクニカ) 前田真美(静岡) 株 D P・奥村理代(静岡) 株

平成十七年度 ベストナイン

投手・鋸持有介(駿河クラブ) 捕手・酒井 剛(浜松市役所) 一塁手・漆畑知之(駿河クラブ) 二塁手・高木俊哉(浜松市役所) 三塁手・塩谷茂樹(駿河クラブ) 遊撃手・保坂知範(鳥建クラブ) 外野手・小長谷和生(鳥建クラブ) 野澤和弘(浜松市役所) 上 和志(鳥建クラブ) DP・小出弘章(浜松市役所) ♀女子



第二十四回全国高校女子選抜大会に出場した常葉菊川高校は連日健闘し強豪古豪を破り見事準優勝を達成した。二回戦で青森県代表の八戸聖ウルスラ学院を1対0で破り三回戦へ駒を進め、九州の強豪・鹿児島県代表・神村学園を2対1で退け準決勝へ。準決勝では昨年苦杯を舐めた神奈川県代表の厚木商業を1対0で破り決勝へ進出。決勝戦は昨年の九州地区大会優勝高・福岡県代表の小倉商業と対戦。前半、中盤と緊迫

した試合を展開したが終盤の五回、六回に失点を許し結局0対2で破れた。初優勝はならなかったものの、昨年の三位入賞を上回る準優勝で、全国ナンバー2の座を勝ち取った。常葉菊川高校の三浦主将は今回の準優勝について「当たり前前のプレーを当たり前にやる事を目標に、チームが一致団結したことが良かった。一点差の試合を守り抜いたことが大きな自信につながった。」と勝因をコメント。

②社内の職場対抗ソフトボールで好成績を挙げたのをキッカケに、地域でのチーム作りを駆け回った。
③県ソ協と各支部役員とのパイプ役に徹する
④特になし
⑤中部支部より問題が提起された時、速やかに解決できるよう各支部間の連絡を取り、県ソ協発展を願う努力したい。

②小学六年の時、学校のソフトボール部で始めた。本格的には藤枝支部が創設された昭和46年ころ。
③県ソ協発展のため、一生懸命やるだけ。新米副理事長なのでよろしく。
④「登心」中学三年の時赴任してきた校長先生の影響。
⑤規約・登録検討、支部組織検討向委員長と連携を密にし、支部組織の在り方、規約・登録制度の見直し。特に個人登録について。

②「若は葉の種」
③減少しつつある中学・高校のチーム数の増加と、各部門と各委員会の協力を得ながら指導者の育成または増加を図りたい。
④「苦は薬の種」
⑤減少しつつある中学・高校のチーム数の増加と、各部門と各委員会の協力を得ながら指導者の育成または増加を図りたい。

①「有言実行」
②チームの登録数が減少傾向で厳しい財政。抑えるべきは抑え、出すべきは出す。メリハリのある財政運営。
③若輩者が、ソフトボール協会発展のため、精一杯がんばる。
④「有言実行」
⑤チームの登録数が減少傾向で厳しい財政。抑えるべきは抑え、出すべきは出す。メリハリのある財政運営。

①「朝、制する者は一日を制す」
②先を見越した若い審判員・記録員の育成。
③先輩の皆様は今までお世話になったので、その恩返しをしたい。(もう返したかな?)
④「朝、制する者は一日を制す」
⑤先を見越した若い審判員・記録員の育成。

①「勇断実行」
②前任者の吉原高校ソフトボール部顧問になったこと。
③高校生の大会運営を審判委員会の協力をお願いしたい。円滑に運営したい。
④努力と工夫
⑤国体ブロック予選を突破し、本国体に出場できるように努力する。

①「お詫びと訂正」
第一九号のトップニュースで紹介のモリアール・ボールの製造元の名称と所在地は誤りです。製造元・株式会社江永化成 所在地・豊都大井町。

①「お詫びと訂正」
第一九号のトップニュースで紹介のモリアール・ボールの製造元の名称と所在地は誤りです。製造元・株式会社江永化成 所在地・豊都大井町。

①「お詫びと訂正」
第一九号のトップニュースで紹介のモリアール・ボールの製造元の名称と所在地は誤りです。製造元・株式会社江永化成 所在地・豊都大井町。